

## NEWS RELEASE

2023年1月6日

報道関係各位

### 日本医療研究開発機構（AMED）が実施する 「ワクチン・新規モダリティ研究開発事業（一般公募）」の公募採択に関するお知らせ

KMバイオロジクス株式会社（本社：熊本市北区、代表取締役社長：永里 敏秋、以下「KMバイオロジクス」）は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）に設置された先進的研究開発戦略センター（SCARDA）が公募した令和4年度「ワクチン・新規モダリティ研究開発事業（一般公募）」において、以下2つの研究開発課題が採択されましたのでお知らせします。

本事業は、国が定める重点感染症に対して感染症有事にいち早く、安全で有効な、国際的に貢献できるワクチンを国内外に届けることを目標としています。

#### 採択課題① 痘そうワクチンの製法近代化に関する研究

乾燥細胞培養痘そうワクチン LC16「KMB」は、「痘そう及びサル痘の予防」を効能・効果とするワクチンです。現在は初代ウサギ腎臓細胞を用いる方法で製造していますが、本事業では、熊本大学ワクチン開発研究センターと共同で、最適な株化細胞バンクを確立することで現製法の毎製造時の動物からの細胞採取・調製工程を不要とする、より近代的で安定性の高い製法に変更することを検討します。さらに、KMバイオロジクスは非臨床試験及び臨床試験などを通じて、近代化製法による実用化を目指します。

#### 採択課題② 弱毒生4価デングワクチンの開発

デング熱は、年間で推定3.9億人もの感染者が発生しているとされる蚊媒介感染症です。KMバイオロジクスは、弱毒生4価デングワクチンの開発（開発コード：KD-382）を進めており、これまでに第Ⅰ相臨床試験を完了し、忍容性と高い免疫原性を確認しています。本事業では、デング流行国における早期第Ⅱ相臨床試験を実施し、重症化リスクが高い小児に対するワクチンの開発を進めます。

KMバイオロジクスは、ワクチン開発・生産体制強化戦略をはじめとする各種施策に基づき、感染症対策などの公衆衛生の向上に貢献してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

KMバイオロジクス株式会社

経営企画部 広報課 TEL：096-344-1385